

研究課題の名称

脳転移を有する非小細胞肺癌の治療形態および予後に関する多施設共同後ろ向き観察研究

研究の目的及び意義

脳転移を有する非小細胞肺癌の実臨床での治療形態や生存期間の調査を行い、生存に影響を与える因子などを解析することなどを目的とする。これにより選択されている治療形態の傾向が把握され、適切な治療方針の検証が可能となり、その結果を実臨床に還元できるものとする。

研究対象者の選定方針

2012年1月1日から2015年12月31日までに組織診あるいは細胞診で非小細胞肺癌と確定診断され、治療開始時に頭部MRIもしくはCTで脳転移が確認されている症例

研究予定期間 承認日（2018年6月29日）から2年間